

東西線沿線を舞台にした ドラマで「郷土愛」を伝えたい



ドラマ制作メンバーの皆さん。後列右端が杉本さん



撮影ではカットの声が掛かるたびに撮影方向やせりふなどをチェックします

東西線開業をきっかけに、未来の仙台のまちづくりを担う人材を育成することを目的として昨年度開催された「WE SCHOOLS」^{ウィー スクールの}。その卒業生の有志が集まり、ドラマで東西線開業を盛り上げようと、沿線を舞台にしたドラマ「WE ARE THE CHAMPIONS!!」^{ウィー ザ チャンピオンズ!!}の制作が行われています。

ドラマ制作メンバーの代表を務めるのは、テレビ番組制作などの仕事を行っている杉本一貴さん。「WE SCHOOLSで学んだことと、自分の得意分野を生かしてまちづくりに貢献したいと考え、この企画を立ち上げました」ときっかけを話します。参加者は学生や社会人など若い世代が中心になっており、学校や仕事の合間を縫って撮影を行ったそうです。

ドラマの内容は、市内各区の若者たちが東西線を自分のもののように、沿線各地でバトルを繰り広げる様子をコメディタッチで

描いた青春群像劇。脚本を手掛けた杉本さんは「けんかのシーンもありませんが、根底にあるのは『郷土愛』なんです。自分が住んでいるまちが好きだという気持ちや、仙台の素晴らしさを、若い世代の皆さんにも感じてほしいですね」と物語の意図を教えてくださいました。



八木山動物公園駅も舞台に

「ドラマという、多くの人になじみのある媒体を使うことで、幅広い世代の方に地下鉄開業を楽しみ、身近に感じてもらえらると思います。それと同時に、仙台の魅力を再発見し、郷土愛・仙台愛を深めてもらえたらうれしいです」と杉本さんは期待を込めて話してくれました。

◆ドラマ「WE ARE THE CHAMPIONS!!」は、9月27日よりミヤギテレビ「仙台ノ学園文化祭実行委員会」（毎週日曜日午前1時35分）番組内にて放映されているほか、WEホームページ <http://we-sendai.jp/tube/>でもご覧いただけます（全6回）